

東日本大震災復興NPO支援・全国プロジェクト

《仙台事務局 NO3》

～～～コンテンツ～～～

- ・ 6 / 5 (日) パラソル喫茶を開催
- ・ 宮城県山元町の仮設住宅に緑のカーテン (ゴーヤ、きゅうり)
- ・ 仙台市内仮設住宅でのパラソル喫茶について
- ・ 7月3日 (日)、東松島市で第3回「パラソル喫茶」開催予定
- ・ 事務局スタッフ紹介

■ 6 / 5 (日) パラソル喫茶を開催

毎度のことながら、今回も出たところ勝負。急に田中さんが娘さんと参加されることになったり、東松島市に向かう車の中で、狭山JCからの参加人数が18名 (その中の8名が理・美容師) だということを知りビックリ仰天。

その他にも、急にNALCの4名参加が分かり、なんと総勢51名のボランティア参加ということが分かった。一瞬、「被災者の方よりもボランティアのほうが多かったらどうしよう…」と頭をよぎったが、そこはパラソルコーディネーターの牧野さん、落ち着いた声で「理・美容師の方々も避難所と仮設住宅の二手に分けましょう」とテキパキと指示をください、たいした混乱もなく、予定どおり小野市民センターと車で約5分の所にあるひびき工業団地の仮設住宅に分かれてパラソル喫茶を開催しました。

今回の特長は全国から色々な方々が参加してくださったこと。特に専門家 (理・美容師) の参加により、カットだけでなくカラーリングまでして頂いたことで、女性の顔がより美しく、生き活きと輝いてきたことは言うまでもありません。また、狭山市から長時間かけてゴーヤ設置に奮闘してくださった方々、ありがとうございます。以下に参加団体・個人を掲載します。

【小野市民センター参加者】

千葉県松戸市「ふれあいネット松戸」7名

埼玉県狭山市「狭山JC」4名。

佐賀県「たすけあい佐賀」2名。(西田京子さん、吉村香代子さん)

仙台市「すずめの宿」の鈴木啓子さんチーム10名 (内：吉田幸夫さん 他1名)

同じくマジックショー5名。 ※スタッフ2名。

【ひびき工業団地仮設住宅参加者】

埼玉県狭山市「狭山JC」14名。

仙台市「NALC」4名。

※スタッフ4名 (田中尚輝さん：久しぶりの肉体労働でお疲れモードの様子?)

■宮城県山元町の仮設住宅に緑のカーテン（ゴーヤ、きゅうり）

ゴーヤ植え隊（田中さんの命名）

6月10日(金)山元町民グラウンド仮設に神奈川からボランティアにいらした木谷さんとゴーヤ植えを手伝って来ました。

「ゴーヤは6月10日までに植えなければ育たない」「ゴーヤの苗が品切れだ」「早く植えよう」等々、田中尚輝さんの大号令のもと、ささえ愛山元のスタッフがすぐに苗やプランターの調達に走ってくれました。

山元町の仮設の人たちは農家の方が多く、「淋しい、何かしたい、土いじりがしたい」と要望があったとのこと。

6月5日のゴーヤ植え隊と少し違って、皆さん野菜を育てるプロですからプランターと土と苗、支柱を渡して持って帰っていただきました。自分で持てない人はボランティアが運んで行きました。

3週間たったら追肥の必要があるそうで肥料を持ってささえ愛のスタッフが手分けして伺う約束をしていました。（近藤明美）

■仙台市内仮設住宅でのパラソル喫茶について

仙台市内の被災者は民間アパートを賃貸する傾向が多いとはいえ、若林区荒井地域の仮設住宅にもそろそろ人が入居し始めました。先日、ウィークデイの夕方、下見に訪れると、公園に隣接して建てられた仮設住宅周辺には子どもたちの遊ぶ姿や声が聞こえ、周辺には大型ショップもあって、この荒井地域は比較的恵まれた所かもしれません。

しかし、入居する人達にとってはお隣さんとの付き合いや人間関係等、一からのスタートです。また、避難所にいれば食事や光熱費等の心配もなく生きていたのが、仮設に移れば、その日から即自立と向き合っ生きていかねばなりません。

恐らく、辛い現実と向き合わなければいけないこともあるでしょう。

そういうときに、ささやかですがパラソル喫茶を通じて、一人ではないこと、気にかけている我々がいることを伝えて、寄り添い、悩みや困ったことを聞きだし、解決に向けて一歩踏み出すきっかけづくりをしていきたいと思っています。

6月末までに試験的に1回実施し、その後、継続的に行うためにチームを組んでパラソル喫茶を開催する予定です。今、緑のカーテンをつくってくださる団体と交渉中です。

■7月3日（日）、東松島市で第3回「パラソル喫茶」開催予定

九州の宅老連絡会の総意をこめて車一台(3人乗車)が九州から東北に向けて出発します。3人の男性が交代で運転しながらの長旅です。

この車はそのまま「のんびり寿美ちゃんの家」に贈呈されます。車の中には、前回要望のあった男性用衣類を積み込んでいます。

■事務局スタッフ紹介

・大久恵美子（週3日）

仙台事務局スタッフの大久恵美子と申します。

出身は岩手県一関市、今は仙台に住んでおります。

今回の震災では、自宅はわずかな被災で済んだのですが、友人が家や車を流されたり、また以前に石巻市に住んでいたことがあるのですが、その変わり果てた状態に津波による被災を身近に感じています。

多くの方がそうであるように、自分も何かしたい、でも何ができるのか、と悶々とした日々を送っていた中、今回縁あって仙台事務局で働かせていただくこととなり、感謝しております。

3年前までは医療系の仕事に従事していましたが、畑違いの分野と業務内容で毎日「目が点」状態です。早く慣れて少しでもお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

・渡辺雅夫（週1日）

名取で隠居をしているところを「すずめの宿」の鈴木さんに見つかり、週に一回ですが参加させていただくようになりました。よろしくお願いたします。

・岩月ゆい（7月から常勤）

初めまして。7月から常勤の職員として活動させていただきます岩月ゆいと申します。

名古屋で高校まで生まれ育ち、大学4年間は京都で過ごしました。

大学卒業後は服飾関係の会社に就職し、名古屋、静岡の店舗で働いておりました。

仙台には縁もゆかりもないので分からないことばかりで不安もありますが、復興に向けて少しでも力になりたいと思っております。

来月より3ヶ月ほどですが、皆様と一緒に頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。